

人口の将来展望(人口目標)について

資料 2

出生率の仮定値

2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	2065
1.54	1.62	1.71	1.80	1.92	2.04	2.04	2.04	2.04	2.04	2.04

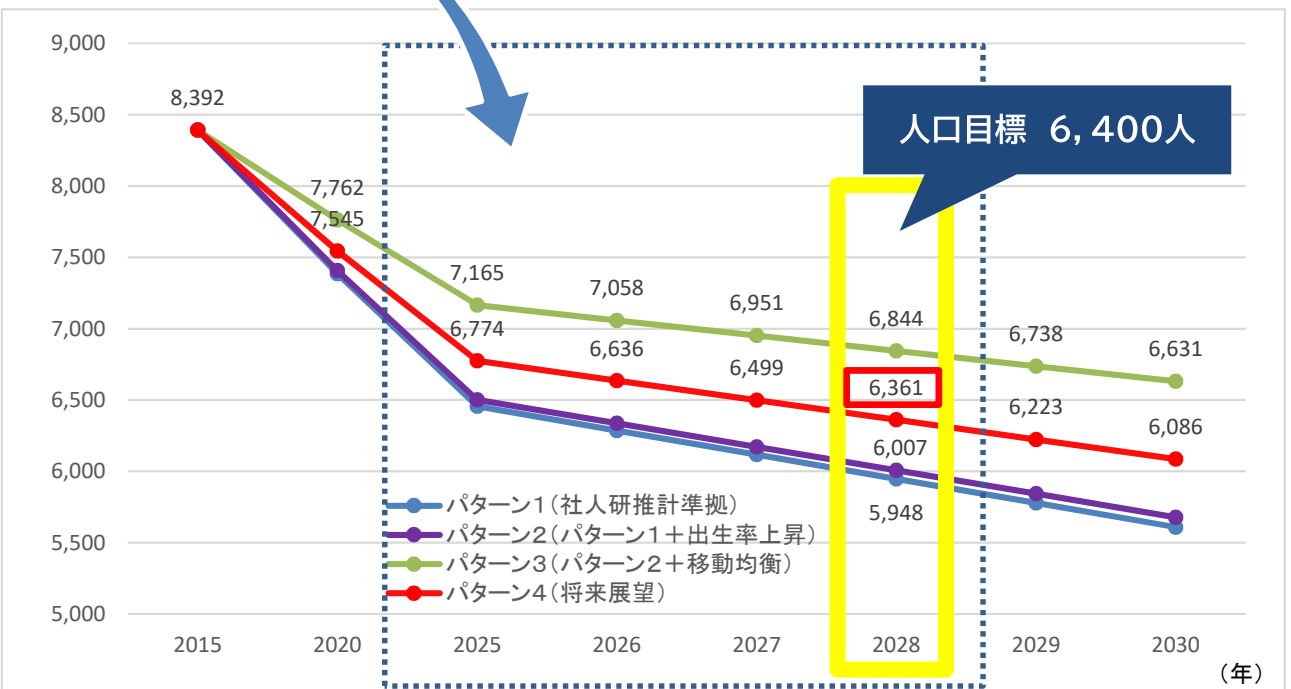
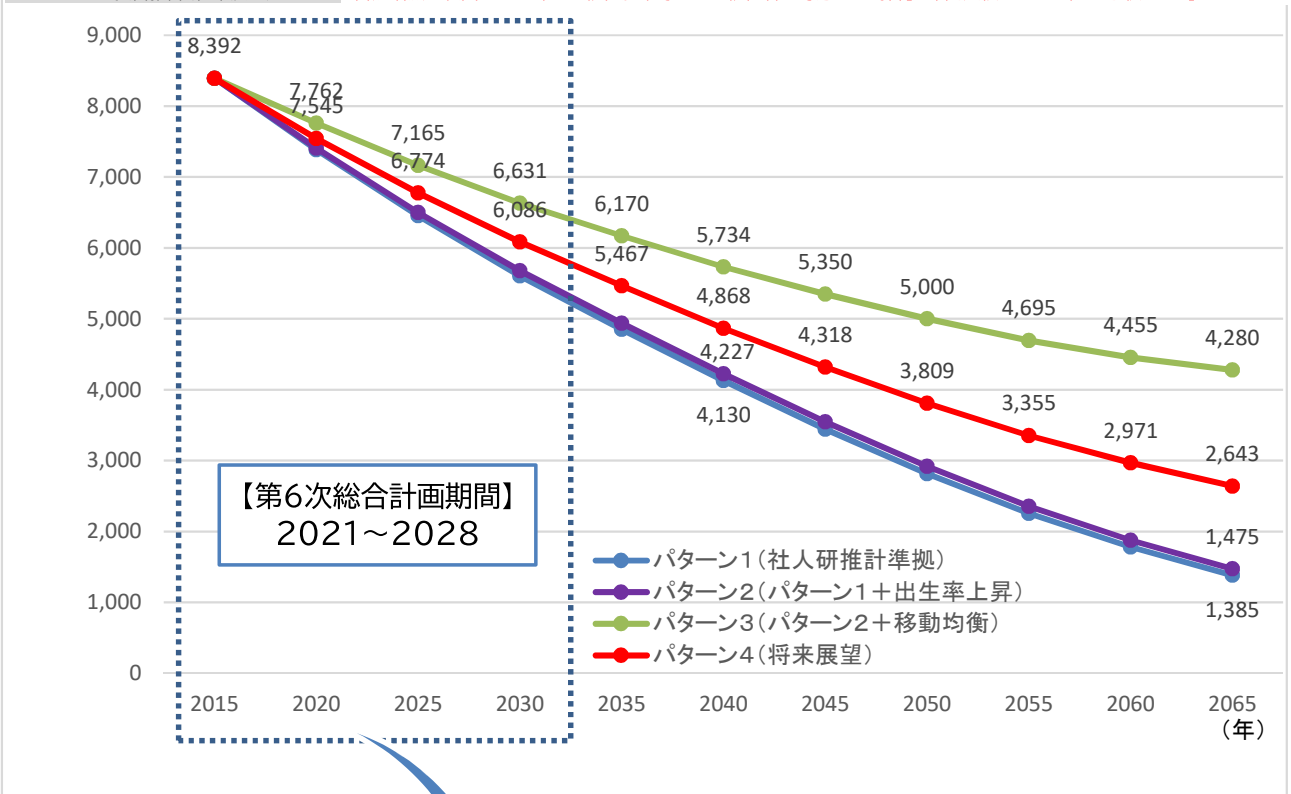
○パターン1 [社人研推計準拠]

○パターン2 [パターン1+出生率上昇]

○パターン3 [パターン2+移動均衡]

○パターン4 独自推計[将来展望]

- ・合計特殊出生率が1.54(現状)から2030年までに1.8(国の目標)、2040年までに2.04に上昇(希望出生率)する場合
- ・パターン2に加え、2040年までに社会移動が±0に収束する場合
- ・自然増減や転出入は加味せず移住施策等による移住者を考慮する場合【5年間実績:125人(うち子供28人)】



1. 第5次総合計画策定時

2020年人口目標 9,500人

(2011策定時 9,533人)

現状値 7,913人(6.1現在)

対目標 △1,587人

2. 将来展望の考え方(前提)

①合計特殊出生率が現状の1.54から2030年に1.8(国希望出生率)に上昇し、2040年に2.04(町希望出生率)に上昇する。

②自然増減と転出入は現状で推移+町の移住施策等による移住者を加味した場合
(5年間実績値:125人、うち子供28人)